

◆予定されるプログラム

ロッシーニ: 歌劇《アルジェのイタリア女》より
「美しい人に恋焦がれ」

ロッシーニ: 歌劇《セビーリヤの理髪師》より
「もう逆らうのをやめろ」

モーツァルト: 歌劇《コジ・ファン・トゥッテ》より
「愛のそよ風よ」

ベッリーニ: 歌曲《追憶》

ドニゼッティ: 歌曲《ランメルモールのルチア》より
「わが祖先の墓よ」

その他、多数 (変更の可能性あります)

破格の音楽性とテクニクに支えられた
世界一優美なテノール
本物のベルカントを知りたければミロノフを聴こう！

マキシム ミロノフ

テノール・リサイタル ジャパンツアー2024

ベルカントの宝物

ピアノ: ジュリオ・ザッパ

2/16 (金)

19:00 開演(開場 18:30)

京都

京都コンサートホール
アンサンブルホールムラタ

2/18 (日)

14:00 開演(開場 13:30)

東京

浜離宮朝日ホール

2/22 (木)

18:45 開演(開場 18:15)

名古屋

三井住友海上
しらかわホール

◎入場料/S席:10,000円・A席:8,000円・U25:3,000円 (全席指定・税込み)

※未就学児入場不可。 ※U25は公演日に25歳以下対象、来場時に年齢確認あり。(要身分証明書)

プレイガイド《全公演取扱》

●アイ・チケット 0570-00-5310
<https://clanago.com/i-ticket>

●チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

●ローソンチケット <https://l-tike.com>

●イープラス <https://eplus.jp>

《京都公演のみ》

●オンラインチケット
<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
●京都コンサートホール チケットカウンター
Tel.075-711-3231
●ロームシアター京都 チケットカウンター
Tel.075-746-3201

《東京公演のみ》

●朝日ホール
チケットセンター
Tel.03-3267-9990

《名古屋公演のみ》

●しらかわホールチケットセンター
Tel.052-222-7117
●愛知芸術文化センタープレイガイド
Tel.052-972-0430



お問い合わせ: クラシック名古屋 Tel:052-678-5310

劇場・音楽堂等の
子供鑑賞体験支援事業

小学校1年生~18歳以下の方、
各公演にご招待します。(先着順)
申込方法等詳細は
クラシック名古屋
ホームページにて
ご確認ください。



Maxim Mironov Tenor Recital Japan Tour 2024

マキシム・ミロノフ テノール・リサイタル ジャパンツアー2024

本物のベルカントで満たされた
最高の夕べ

マキシム・ミロノフ

Maxim Mironov

【テノール】

ベルカント。私はそれをロッシーニ、ドニゼッティ、ベッリーニの時代の歌唱、というように限定的にはとらえていません。バロックから現代音楽まで、美しく優雅な歌唱表現がベルカントです。今回は美しい室内歌曲のほか、オペラ・アリアも歌います。たとえば、モーツァルト《コジ・ファン・トゥッテ》の「愛のそよ風よ」は、驚くほど美しい旋律で彩られた純粋なベルカントです。ロッシーニ《セヴィーリヤの理髪師》の「もう逆らうのをやめろ」のような難曲も歌います。反対に、とても内省的な曲も歌います。それがすばらしく均衡したプログラムです。今回は世界中の劇場ですぐれた仕事をしていて、最高水準の伴奏が保証されたジュリオ・ザッパがピアノを弾いてくれるので、心強いです。

日本のファンは世界でも傑出して耳が肥えていますから、とにかく最高水準のものを提供するしかありません。本物のベルカントで満たされた、このうえなく心地よい夕べを過ごしていただけることをお約束します。

(聴き手: 香原斗志)

世界のワキツノが推薦

私がかぎり
この世でいちばん優雅な歌手

脇園 彩

Wakizono Aya

【メゾ・ソプラノ】

容姿にも声にも歌唱にも、持って生まれた優雅さが頭抜けているマキシム。乱暴な表現がどこにもなく、すべての音を可能なかぎり大切に、聴くだけで非日常に連れていってくれます。

テノールの超高音は、いまはほとんど胸声で出しますが、じつは1830年代まで、胸声を響かせるのは下品だと考えられていました。マキシムはその当時の気品あるスタイルで歌える、世界でも指折りの歌手です。ファルセットに胸声を交えて歌い、優雅さがほしいときはファルセットを色濃くする。そう表現するのが彼の哲学で、それができる抜群のテクニックがあります。

自然と音楽を心から愛するマキシムは、私の大切な友人の一人。人間としても音楽家としても、彼ほど優雅な人を私は知りません。これほどの人が日本で歌ってくれるのは、ほんとうにすごい！ 聴き逃してはいけません。

Artists Profile



マキシム・ミロノフ【テノール】 Maxim Mironov, Tenor

1981年、ロシアのトゥーラ生まれ。2003年、A. グレトリ《ピョートル大帝》に主演してオペラ・デビューし、2年後、グラインドボーン音楽祭《ラ・チェネレントラ》のドン・ラミーロ、ロッシーニ音楽祭《ランスへの旅》のリーベンスコフ伯爵で世界的に注目された。その後はミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、パリ・オペラ座など世界各地の歌劇場と音楽祭で活躍。日本では藤原歌劇団《ランスへの旅》、新国立劇場《セヴィーリヤの理髪師》と《トン・パスクワレ》に登場、絶賛された。現代最高のベルカント・テノールの一人で、日本文化への造詣が深い知日家としても知られる。



ジュリオ・ザッパ【ピアノ】 Giulio Zappa, Piano

イタリアのモンツァ生まれ。ノヴァーラ音楽院でピアノ、国立ミラノ大学で外国語と文学を学び、オペラのピアノ伴奏者として活動。その傍ら声楽コーチ、リサイタル伴奏者としてミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場をはじめ主要劇場に招聘されている。ベルカントのレパートリーを得意とし、ルチアーノ・パヴァロッティ、マリエッラ・デヴィーア、ファン・ディエゴ・フローレスらさまざまなアーティストと共演。2003年からロッシーニ・オペラ・フェスティバルのメインコーチ兼ピアニストを務めた。